

2017～2018年度 R.I.テーマ

**ロータリー：変化をもたらす**

R.I.会長 イアン H.S. ライズリー

事務所 飯田市通り町4-1293-1

☎23-3430 FAX23-3433

URL:<http://iidarotary.com/>

E-mail:[iidarc@titan.ocn.ne.jp](mailto:iidarc@titan.ocn.ne.jp)

例会日 毎週水曜日 PM12:30～13:30

例会場 シルクホテル ☎23-8383

会長 久保田 栄一 幹事 春原 農



## 会 報

2017.7～2018.6 No.6  
**MONTHLY REPORT**

## 6月号

# いいクラブにしよう ロータリーの心と原点からさらなる変化を



### 白馬村 白馬五竜岩岳百合園

白馬の百合園は冬場はスキー場として賑わうが、シーズンオフになると客が呼べない、そこでスキー場として知恵を絞り百合園をつくり現在の姿になり賑わっている。白馬村はこの他にも、長野オリンピックのジャンプ場や八方尾根への軽登山をはじめ、北アルプスの登山口として、夏場でもにぎわっている。その後、スキー場などの夏場対策として各地のスキー場で、お花畑を作り誘客に知恵を絞っている。南信のスキー場では治部坂高原スキー場がコスモス畑など、見事な花を見せてくれる。

(撮影・文 杉本 進)



## 一年を振り返って

会長 久保田 栄一

昨年7月に会長を拝命して最初は1年長いなと思いましたがあっという間に1年経ってしまいました。でも、本当に楽しいロータリーライフを経験させて頂き皆様に感謝の言葉しかありません。最初は会長挨拶のテーマは何か考える事が負担でした。しかし、今はこれを題材に出来るのではといろいろ浮かんでいきます。会長を経験して一番勉強になったのは私自身です。それは、今まで時事で関心が無かったことに敏感に関心を持つようになりました。世の中の動きや業界の情報にアンテナを高くして多くの情報を得ようとする自分がいました。最初の頃は、情報を得て伝えるだけでしたが、それではなく、一つ一つの事柄に自分なりの考え方を述べなれば皆様に伝える効果がないと考え自分の考えを入れるようにしました。

さて、私が思うロータリークラブの精神は、1.知り合いを深める事、2.職業を通じて社会に奉仕すること、3.親睦と相互理解で楽しく活動を出来る事と 생각합니다。

まずは会員増強でした。一時会員数が29名になり「大変だ」と思いましたが、皆様の協力で6月末で33名になり次年度は7月1名入会して34名の予定です。本当に皆様の会員増強に対して協力有難うご

ざいました。感謝です。

今年度はローターアクトとの合同例会で伊那谷道中かぼちゃん村風越寮の子供たちがアクトのメンバーと手をつないで楽しく遊んでいるのを見るとこの事業やって良かった。

皆様にはお世話になったのですが「私と職業奉仕」という冊子を作り皆様の自分の職業に対する思いや仕事をするうえでの人生観が解りこれは飯田RCの財産と思います。RI会長方針の植樹例会では吾妻町公園のベニシダレザクラを植えることが出来この例会も成果がありました。

また、IMでは飯田RCとしての真骨頂を表すことが出来、成功裏に終了しました。特に私にとっては望月パストガバナーに御礼の挨拶が出来たことは感慨無量でした。

最後に春原幹事さんには私を走りすぎないでセイブして頂いたり、時には尻をたたいたりして頂き、先輩なのに感謝の言葉しかありません。飯田ロータリークラブのメンバーに全員に今年度の事業に協力して頂いた事に感謝、感謝です。やっぱりロータリークラブは楽しいです。

最後に組織というのはトップによって変わるそれを実感した1年でした。

## 一年を振り返って

クラブ運営委員会 松村 一成

小委員長、委員の皆様のご尽力と会員の皆様のご協力により無事に1年を終わることが出来ましたこと、心より感謝申し上げます。昨年7月に突然クラブ運営委員長と奉仕活動委員長の両方を仰せつかりましたが皆様のお力添えによりまして何とか1年を終えることが出来ました。

本来ならば委員長が先頭に立ってクラブ運営委員会を推し進めていかなければならないのですが小委員会の方々が大変優秀で私が出る幕は無いと言ってもいいくらいでした。

会員増強維持PJ委員会は、木下委員長以下全会員が総力を挙げて取り組み、6人もの新規会員が増え一昨年同様40人に迫ろうとしています。この勢いで増強すれば40人も夢ではないと思われま

プログラム委員会は加藤委員長のご尽力で、素晴らしい内容となり、特に春草と大観、観山、孤月のお話は目から鱗、素晴らしい話となりました。

ニコニコBOXも本年は例年通り順調でした。委員の方々のお力によるものと思われま

親睦活動委員会は、木村委員長が八面六臂の働きで皆さんを楽しませていただき、特に親睦家族旅行の新歌舞伎座の花道の横での観覧は大変感動いたしました。

公共イメージ向上委員会は、皆さんが楽しみにしているマンスリーを作成していただきました。

私のような未熟者が委員長として無事に任を終えることが出来ましたのも皆様のおかげです。大変有難うございました。



## 一年を振り返って

幹事 春原 農

H14.年に入会以来、楽しいロータリーライフを静かにおくってまいりましたが、突然久保田会長の下、幹事としての一年間を過ごすことになりました。

会長の事業計画を事前にお聞きして、今年の重点事項が会員増強、会員相互の親睦、職業奉仕の推進、IMの実施と成功等々であるがわかりましたが、それに向かってどのように幹事としての仕事をしていくのか全くわからず不安でした。諸先輩の事業内容を調べ勉強しながら、事務局・遠山さんに種々お聞きしながら何とかやってまいりました。

社会環境の変化はロータリーの組織活動にも影響してきており、それを踏まえての組織や活動の簡素化、そして予算の全般の再点検、再構築が必要な時代となりつつあります。

今年は会員の負担と予算を減らし、内容の充実を図るため例会の回数の圧縮を行うこととしました。

若い世代の新入会員にも新しい時代に向かってUP DATE の努力をしていこうとしている飯田ロータリーを理解していただきながら、会の中核になっていっていただきたいとの思いです。

ホストクラブとしてお手伝いしたIMの内容も、今までにないユニークな内容となり、大成功であったと思います。

特別例会、家族旅行、植樹例会は担当委員会の尽力と会員皆様の協力で、楽しい思い出に残るものとなり 毎年の風越寮との交流事業もRACとの連携で大成功に行うことが出来ました。

久保田会長の信念である職業奉仕の見える化として、私の職業奉仕の一冊を作ることができ、会員のお手元に残るものとなりました。

会員皆様のご協力とお力添えがあって、幹事としての業務を終えることができました。私の人生の大切な一年となりました。本当に有難うございました。

## 天竜川RCとの合同例会に参加して

木下 伸二

5月28日(月)午後6時30分から千登勢において、天竜川ロータリークラブとの初めての合同例会が開催されました。当クラブからは私を含め7名が出席し、大変楽しい例会に参加する機会を得ました。

この合同例会は、去る4月18日(水)、当クラブの若葉例会に、天竜川ロータリークラブの皆様を懇親会の席に招待したことに対するお返し、として開催されたものです。下伊那グループの一員ではあるものの、IMくらいしか交流の場がないため、意図的に交流の場を設け、楽しもうという趣旨で開催されています。

さて、最近特に、他クラブの例会に参加する機会がありませんでしたので、どのように行われのか興味津々で参加しました。

まず受け付けで配布された大きな文字でカラー印刷されたウィークリー、カブトムシの森での作業風景の写真付でした(今回だけかもしれませんが)。天竜川クラブの参加者は約20名くらいだったと思います。市瀬光一会長の点鐘から始まりほぼ同様の進行により例会が進んでいきます。会員慶祝では該

当会員の全員が挨拶をしていました。ニコニコボックスで驚いたのは、会員の全員が例会のたびに抛出する、と聞きました。毎回の金額は確認し忘れましたが、さぞ高額な寄付になりそうです。氏名を呼び上げるたびに、「沢山沢山ありがとうございます」との言葉が繰り返され、耳に残りました。

例会終了とともに部屋を替わり、いよいよ懇親会へ突入です。

親睦委員長の挨拶の後、小畑ガバナール補佐の挨拶と乾杯の発声により懇親会が始まりました。少し時間が経ったところで、全員の自己紹介があり、アトラクションとして「ビンゴゲーム」が行われました。どうも勝負事に弱い自分は賞品に在り付けませんでしたが、もう何十年ぶりくらいの久しぶりのゲームに楽しませて頂きました。例会及び懇親会を通じて、飯田クラブと雰囲気似ているな、と感じました。会員相互の年齢差は相当あるように感じましたが、和気あいあいとして雰囲気はとても感じよく、安心感がありました。

以上報告とさせていただきます。

## 下伊那グループガバナー補佐としての一年

小畑 正人

貴重で有意義な体験を得ることができ、又、楽しく活動できました。

ロータリーの活動の大切さと、ロータリアンの人間性も学び、各クラブの持つ事情など、職業人として企業の在り方まで、一人一人の言動から多くを学ぶことができましたと思います。グループの纏まりと各クラブの発展を一番に念頭に置きながら、ガバナー補佐としての任務を何とか終わることができました。それには、我飯田クラブをはじめ下伊那グループ各クラブのロータリアンとその事務局員の方々のあたたかなご支援があったればこそ、と心より感謝する次第です。

ただ一つ、本年度限りで松川クラブが解散という事態となり、誠に残念なこととなりました。時代が変遷

する中でのやむを得ない事情とは言うものの、力不足になってしまったことは大変申し訳ないことと感じています。地区内ではどのグループも会員増強は一定の成果を上げている中で、こうした結果が下伊那グループで発生したことは痛恨の至りでした。今後は4クラブでこの穴埋めができて行かれるよう次年度には申し送りしておきたいところです。一つの成果として、下伊那グループ5クラブ合同例会・チャリティーゴルフができたことです。これからもクラブごとの活動は勿論のことですが、グループとしてのロータリアンがもっと交流を深めるには一つの手段としてお役に立てたのではないかと考えています。今後も何らかの形でグループ合同での活動ができて行ければ幸いです。

## 一年を振り返って

奉仕活動委員会 松村 一成

はからずも私が奉仕活動委員長を兼任することになりまして、無事に1年が終わりました。本年は、久保田会長のもと奉仕活動委員会が積極的に仕事をしていただきました。

職業奉仕委員会では、井坪委員長を中心に行われ、今年は「私と職業奉仕」なる冊子を作成しました。非常に好評で素晴らしい出来栄えだったと思われまます。

社会奉仕委員会は、松澤徹委員長を中心に本年は地区補助金事業をしました。特筆すべきは、植

樹事業として新しい桜を植え、公園整備を行ったことです。この事業は、できれば毎年少しづつ行ってもよいのではないかと考えられます。

青少年奉仕委員会は、ローターアクトと合同例会を開き、風越荘と交流を図りました。飯田RCとしてとても有意義な交流になりました。

本年度の奉仕委員会は、活発で実に有意義な年になったと思います。

各小委員長の皆様、また会員の皆様、本当にご協力ありがとうございました。

## 地区研修・協議会報告

去る4月8日に松本大学にて、第2600地区の2018-2019年度のための地区研修・協議会が、多くのロータリアン参加のもと、開催されました。例年より早く春が訪れ温かい日が続いていたのですが、当日は急に寒くなり、ストーブが設置された会場での開催となりました。

午前中は、第1回本会議が行われ、関ガバナーの挨拶に続き、伊藤ガバナーエレクトによる挨拶があり、自身のプロフィール紹介のあと、次年度の地区方針が発表されました。地区標語「Find The Value (価値を見出そう)」に基づき、行動計画や事業内容の説明がありました。

昼食の後は、9部会に分かれ分科会が行なわれました。私は青少年奉仕部会に参加。同会では、青少年交換、ライラ、インターアクト、ローターアクトの各小委員会の委員長より次年度の事業計画が発表された後に、質疑回答、意見交換の場となりました。多くのロータリアンから活発で前向きな意見が多く出され、いろいろな考え方を知ることが出来、非常に有意義な会議でした。

その後の第2回本会議では、古川ガバナーノミニの紹介、次年度地区大会の説明等があり、最後は全員でロータリーソング手に手つないでを合唱し、終了となりました。

今年度の終了の近づきと新たな次年度の始まりを感じた1日となりました。  
(赤羽 克啓)

## 《新入会員紹介》



このたび  
飯田ロータリークラブに  
入会させていただきました  
**小口正史**です  
よろしくお願ひ致します

松本生まれの長野育ちで、飯田へは2年前の転勤で長野市に妻子を残して単身赴任で初めて移り住みました。ただ高校時代からラグビーをやっていた縁で試合や練習で度々訪れていましたし、所属チームの対戦相手や県代表時代のチームメイトも数多くいるため、初めて住む土地という気がほとんどいたしません。

こちらに来て3年目となりますが、気候も風土も「同じ長野県でここまで違うのか」というのが実感です。北信地域は日本海気候で曇天が多く降雪量も多いですが、こちらは晴天率が高

く冬場も温暖で非常に過ごしやすと感じています。また食の分野においても有名な焼肉や菓子だけではなく、野菜や果実の美味しさも県下随一ではないでしょうか。また着任早々お練りまつりを観て以来地域の伝統芸能の素晴らしさにも目覚め、時間を見つけては様々な祭りやイベントにも出かけております。周辺には温泉も多く風光明媚な自然環境と相まって、週末は帰省するよりもこちらで楽しむことが日課となっております。

飯田下伊那地域には、他にない素晴らしいものが数多くあります。ただ地元の方にとっては「日常」であるが故に、そのことがまだまだ県内外に認知されていないと感じています。ロータリークラブの活動を通じて飯田の素晴らしさを更に学ばせていただき、より広く周知してまいりたいと思います。

## 第41回ローターアクト地区年次大会に参加して

飯田ローターアクトクラブ会長 櫛原唯志



過日5月26日に上田ローターアクトクラブがホストを務める第41回地区年次大会が上田東急REIホテルにて開催されました。大会テーマを「心の通うおつきあい」とし、そのテーマにそった会場作り・活動発表が行われ

ました。

まず会場作りでは、長野県のことをもっと知っていただくために、いこいの広場というブースを設け、各クラブの出身地域の名産品を置きました。また準備や当日は2600地区のアクターで行い、ご出席される方々をおもてなしをしました。

活動発表では、新潟の年次大会を参考に発表の仕方や音楽やムービーを取り入れて今までの発表よりも楽しんで聞いていただけるそんな活動発表

になりました。

そして何よりこの年次大会で驚いたことは、日本全国各地から大勢の方が参加してくださったことです。宮入地区代表をはじめ各クラブのアクターが各地に出向き、心の通うおつきあいをしたことで年次大会に来てくださったのだと思いました。この1年でできた繋がりは貴重なものです。来期は私たち飯田ローターアクトクラブがホストになり、地区テーマを「結 つながり・絆」で活動していきます。この繋がり・経験から更なる出会いや経験を生み出し強く固いものにし、来年の年次大会の時には、輝きのある2600地区にしていきたいです。

今期の年次大会は、新たな発見・経験のある来期につながる年次大会でした。

## 植樹例会にご協力 有難うございました

社会奉仕小委員会 委員長 松澤 徹

去る5月9日、中央公園ロータリー記念碑近くの広場に於て、4月に植え替えをした八重紅枝垂桜のお披露目及び追肥、芝草の手入れを行いました。植樹セレモニーは時間の関係で省略してしまいました。久保田会長ゴメンなさい。

当日は多くの会員にご協力をいただき、文吾林造園さんと木村委員のご指導のもと、作業を行いました。ゴールデンウィーク後の思わぬ長雨により、当日午前中まで怪しい天気となってしまいましたが、なんとなか雨が上がり実施できました。

芝刈りの行い方や芝生の空気抜き説明を受け、皆さんが持ち寄っていただいた道具と、お借りした芝刈り用品を使い、芝刈り、草刈り、枝の手入れ、シュロの木の抜根が出来ました。特に木下会長エレクトには多くの仕事を引き受けて頂き有難うございました。皆さんのご活躍に感謝します。皆さん有難うございました。

1年間皆さんに交代で公園清掃をさせていただきましたことも重ねて感謝申し上げます。

中央公園の当該の場所は、飯田ロータリークラブを飯田の皆さんに知っていただく大切な場所でもあります。昭和34年天皇陛下のご成婚記念にロータリーの記念碑を建て、平成18年飯田ロータリークラブ60周年に植樹しました。ラウンドアバウトが出来、公園場所が変わる中で、植樹した桜が枯れてしまいました。その間何回公園の整備があり、記念碑も桜も植え替えを経ております。今回の植え替え等の整備についても飯田市公園緑地係と打合せの上実施いたしました。当クラブと市民の皆さんを結ぶ場所としてこれからも生きた場所であってほしいものです。

芝刈りや桜への追肥を行いました。今後の養生や手入れの必要があると思います。来年の4月にソメイヨシノが散った後、ピンクの桜で満開になることを祈念しております。これからの手入れや清掃を皆さんにお願いして、事業の報告に変えます。

皆さんの永年にわたるご協力に感謝申し上げます。



編集  
後記

久保田会長年度も本日の例会が最後の例会です。大変お疲れ様でした。今回で、今年度のマンスリーが最終号となります。発行に対しまして皆様にご協力いただき感謝申し上げます。杉本進元会員様には、毎号表紙の写真提供をいただきお世話になりありがとうございました。

(公共イメージ向上委員会 畠中 實)